

医系学生通信

発行：静岡県民主医療機関連合会
〒420-0068 静岡市葵区田町 5-90
TEL:054-253-7275
URL: <http://www.shizumin.com/>

TPPで日本の医療が崩壊してしまいませんか？

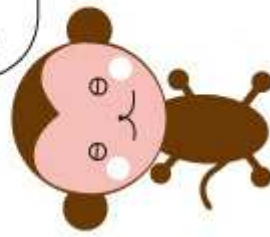
静岡健康企画 たまち薬局 薬剤師 中村ほなみ

毎日のようにテレビでTPP「環太平洋戦略的経済連携協定(Trans Pacific Partnership)」の話題が取り上げられています。簡単に説明すると、太平洋周辺の広い地域の国々；日本、中国、東南アジア諸国、オセアニア諸国、米国などが参加して、完全に関税を無くして自由貿易圏を作ろうという構想です。

テレビでは盛んに「日本の農業が危ない！」と言われていますが、実は本当のねらいは「医療」で、すなわち「医療保険」の解放です。もっと具体的に言う事なのです。この問題については、ほとんどテレビで取り上げられる事はありません。TPPに日本が参加すると、医療の仕組みはアメリカの仕組みに近づいて行く予想されます。皆さんはアメリカの医療はどんな仕組みになっているか知っていますか？

日本は国民皆保険で、保険証があれば日本全国どこでも定率（自己負担は三割）で医療が受けられます。また、高額医療費制度という制度があり、手術を受けたり高額な薬物治療を行っても、上限が定められていて、上限以上にかかった医療費は保険料（税金）でまかなわれる仕組みになっています。

カネがないがために
医者にかかれず
死なねばならんとは……



しかし、アメリカは国民皆保険制度が無く、民間保険会社の保険に加入して医療を受けなければなりません。保険料が高いために未加入者が五千万人もいて、お金が無いために医療を受ける事ができません。また、民間保険に入っても、保険会社があらゆる手段を使って保険金を（患者に）支払わないので、全額自己負担で医療を受けなければならないケースが多くあり、高額な医療費の為に十分な医療を受ける事ができません。これらの状況は、マイケルムーア監督・映画「SICKO(シッコ)」で見ることが出来ます。これから医療に携わる人は必見の価値有ります。是非見て下さい。

さて、TPPは現在交渉中ですが、アメリカの市民団体パブリック・シチズン(Public Citizen)がTPPのリーク情報をつかんだという事でYou tubeやホームページで公開していますが、その内容は驚くべきものでした。

(動画 <http://democracynow.jp/video/20120614-2>)
(ホームページ <http://www.citizen.org/Page.aspx?pid=183>)

交渉は「徹底した秘密主義」で行われており、市民には全くその内容が知らされないまま決定され、TPP開始後も四年間も非公開にするとされています。その中味は米国の通商代表部が企業側と連携しながら進めているので米国の国会議員でさえ内容を知らることができないと言われています。

※TPPには大変恐ろしい条項が含まれている

ラチェット条項…一度変えたルール・基準はもとに戻せないという規定

ISDS条項…その国の法律や規制によって、相手貿易国の会社(企業)が被害を受けたら、裁判でその賠償を求める事ができる(つまり、訴えられないように国の法律や規制を変更しなければならない。)

TPPで日本の医療が崩壊してしまうかも？

米通商代表部はTPPは米韓FTA（自由貿易協定）、NAFTA（北米自由貿易協定）をモデルにする」と表明しています。米韓FTAでは混合診療の一部解禁や薬価制度の改悪が行われています。これらの協定から、日本の医療がどう変わるか考えてみましょう。

① **混合診療の解禁** 医療の格差を生み、安全性が崩される。現在の日本の健康保険法は、「保険診療」と「自由診療（全額自費診療）」を混在させる混合診療を禁止していますが、これが解禁される事で、「良い医療を受けるには金次第」となります。また、自由診療分の費用を用意するために民間医療保険への加入が増え、保険会社が儲かる仕組みになります。

② **株式会社に病院の参入** 非営利・公益の診療がもうけの対象に。株式会社が病院を経営し、儲けるための医療を行うようになる。安全性よりもコストを重視するようになります。また採算の合わない過疎地域や診療科は無くなってしまうでしょう。

③ **薬代が高くなる** リークされた情報の中に、特許期間を長くしジェネリック医薬品メーカーに薬を作らせないという項目が、製薬メーカーから出されています。また、臨床データを独占する動きもあり、ますますジェネリック医薬品が作られにくい構造が作られようとしています。

④ **外国人医師が日本にやってくる** 医療水準の維持が不透明に。TPPは「人の移動の自由化」も入っています。安い労働力の導入で日本の医療水準と安全性が維持できるかどうか不透明です。



被災地フィールドワーク 宮城

浜松医科大学 三年 M

（※三月十三日～十五日のフィールドワークでは、宮城県沿岸部の山元町で畑のがれき撤去作業のボランティアに携わったり、塩釜市の坂総合病院を訪問し、震災当時の救援活動についてお話を伺ったりしました。）

スコップで掘り起した土の中からは津波で運ばれてきたと思われる缶やガラスの破片なども出てきて、確かにこのままの状態ではここに何かを作ることはできそうにないだろうなと感じました。すごく地道な作業で正直大変でしたが、これこそ一人でも多くのボランティアさんの力があれば少しずつ復興に向かえるのではないかなと思います、やりがいもありました。



畑のがれき撤去作業では、がれきがたくさん出てきました。

沿岸部の様子には本当にショックを受けました。ここに住宅があったのだからという区画だけが残っていたり、一階が津波でえぐられたままの家がポツンと建っていたり、曲がったままのガードレールが残っていたり・・・。地震と津波の怖さを感じました。

坂総合病院では、震災が起きた時にどのような対応をしたのか。当時の様子など貴重なお話を伺うことができ、民医連の皆さんの団結力の強さ、行動力に驚きました。

自分の目で被災地をまわれたこととても貴重な体験でした。報道からは得られない情報がたくさんあり、行くことができなくて良かったです。今後私たちにできることを継続していけるよう、また現地の方のお話を伺えたらと思います。



沿岸部には津波の被害を受けた建物がまだ残っていました。



企画レポート

薬学生セミナー 宮城

静岡県立大学 四年 青木 麻子

三月二十二日～二十四日、仙台で、全日本民医連第
一回薬学生セミナーが開かれました。薬学生単独の全
国規模のセミナーは初開催でした。

一日目は震災時の病院の様子を聞きました。病院で働く人も被災者の一人であるのに、休まず働いていました。その支えとなったのが、支援の人々や患者さんであり、助け合いだったそうです。石巻へも見学に行きました。海岸の方は更地のままでした。復興しつつある街でも、住んでいる人の心の中には震災の恐怖、死の悲しみが残り続けています。以前の生活に戻るための復興と同時に心のケアも大切だと感じました。

二日目は薬剤師さんの話を聞け、民医連の良い所がたくさん見つけられました。また、学生のうちにしっかり勉強しておこうと思えました。

あつと言う間の二日間でした。多くの薬学部生と交流ができ、これからも情報を交換したりして、この出会いを大切にしていきたいです。



ここから
始めよう

全日本民医連第1回

薬学生セミナー in宮城県

【日時】2013年3月23日(土)12:00～24日(日)12:00

【会場】ホテルレオパレス仙台

- 【内容】○講演「3.11薬剤師はどうしたか」
- フィールドワーク(被災地見学)
- 先輩薬剤師のお話
- 困難事例と薬剤師の取り組み



【本件の問い合わせ先】
全日本民医連 事務局 職員育成部 担当:柳原・倉谷
E-mail: min-ikusei@min-iren.jp TEL: 03-5842-6451 FAX: 03-5842-6460
〒113-8465 東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター7階



職場紹介

家庭的な雰囲気での介護

増える認知症高齢者を家族の目線で介護する

よいち友遊デイサービス 望月 貞夫

よいち友遊デイサービスのスペースに、新たに認知症対応型デイサービスを四月一日に開設しました。施設名は、「デイサービスほのぼの」と名付けました。

認知症になられても、その人らしく毎日を過ごしていただきたいという思いから、施設名を「ほのぼの」としました。

認知症の利用者さんのおられるご家庭は、日々大変な思いで介護されていると思います。私たちはご家族の家庭での介護を、少しでも和らげられるように援助できればと思います。



利用者みなさまと一緒にとテープカット。



内覧会には50数名の方が参加されました。

「ほのぼの」では、利用者様お一人おひとりの思いを受け止めて、おやりになりたいことを一緒にやっていきたいと思えます。「ほのぼの」で穏やかに過ごす事で、ご家庭に帰られても安定した心の状態を保てるように援助していきたいと考えています。

民医連四〇期第2回評議員会方針は、地域密着の認知症対応の介護を進めるよう提起されていますのでその実現に向けて努力していきます。

おすすめ 情報☆

食べてみい『アイスコルネット』

三島共立病院 薬剤師 林 昭文

「こんには、今回、私がひまわり薬局(浜松市中区佐藤)勤務時代によく食べたスイーツを紹介します。その名は、『アイスコルネット』。浜松市など西部の学校に通われている方はご存知かもしれませんが、浜松発の新食感スイーツでテレビやラジオ等でもとりあげられ、その名は全国に知れ渡っている程(?)流行ってきているようです。

「アツアツの揚げパンの中に冷たいアイスクリーム」という斬新なスイーツ。一度食べたたらやみつきになってしまいかも…。私の娘もハマってしまいました。

どこで食べられるかというと、浜松佐藤町診療所から、六間道路を西へ約七百メートル行ったらところに本店があります。

お店の名前は『コルネット』、最寄りのバス停でいうと「文化芸術大学前」が近いです。その他にも、浜北区の「プレ葉ウオーク」や東名「浜名湖SA」にもあり、移動販売もやっています。プレ葉ウオーク店ではいろんな味のバリエーションがあるようです。ぜひ一度、足を運んで食べてみてください。

P.S. 最近では、『餃ルネ』という餃子の餡を入れたバージョンもあります。



本店：静岡県浜松市中区八幡町 71-1
 営業/10:00~18:00
 定休日/月曜日
<http://www.cornet.jp/>

医療情報 in 静岡

◇風疹 県内でも急増 ◆すでに去年の2倍

全国的に風疹が大流行する中、静岡県内でも患者数が急増している。県によると、三月末現在で累計患者数は四十二人に上り、昨年一年間の二倍を超え、統計開始以来最悪のペースだ。春先から初夏にかけて感染が広まる傾向があり、今後さらに流行が拡大する可能性がある。

県によると、県内の風疹患者数は統計開始の二〇〇八年以降、年間十七人、一人、三人、四人、十八人と推移。今年は三月末までに四十二人と群を抜いており、県の担当者は「予防接種が最も有効な対策。受けてほしい」と強調している。二回の予防接種でほぼ感染は防げるという。

風疹は飛沫(ひまつ)感染で広がり、発熱や突然の全身発疹などの症状が起こる。風疹の予防接種を受けていない年代を中心に感染、発症しており、今年は患者のうち三十三人が二十~四十代の男性。女性が妊娠中に感染すると、生まれた子どもに白内障や心疾患などが起こる可能性がある。

(中日新聞参照)

※風疹の予防接種ご希望の方は以下の医療機関までお問い合わせください。

静岡東部 三島共立病院 055-973-0882 静岡西部(浜松市中区) 浜松佐藤町診療所 053-465-0210
 静岡中部 静岡田町診療所 054-253-9101 静岡西部(浜北区) 生協きたはま診療所 053-584-1550

イベントスケジュール

第34回全国医学生をつどい第3回実行委員会

毎年行われる「医学生をつどい」、全国から多くの医学生が参加し、交流を深めます。新入生も在生も医学生ならどなたでも参加できます。

参加希望の方は事前に医学生担当までお問い合わせ下さい。参加費・宿泊費・交通費は無料です。

*日程：2013年5月25日(土)13:30~26日(日)12:30

*場所：東京晴美グランドホテル

*内容：学習講演、学生交流etc

中村伸一医師講演会 地域に“寄りそ医”20年 ~地域住民と診療所医師の強くて温かい絆の物語~

NHKの番組「プロフェッショナル 仕事の流儀」やドラマ「ドクター」のモデルとなった中村医師のお話をお聞きになりませんか?

参加希望の方は事前に下記担当までお問い合わせ下さい。参加費・交通費は無料です。

*日程：2013年5月19日(日)14:00~16:00

*場所：愛知県産業労働センター ウィンクあいち

イベントのお申込み・お問い合わせ

☞医学生

静岡民医連浜松事務所 担当：小黒・佐藤・小高

Tel：053-435-5932

e-mil：igakutai@shizumin.com

☞看護学生・薬学生・リハビリ学生

三島共立病院 担当：鈴木

Tel：055-973-0882

e-mil：kangakusei@shizumin.com